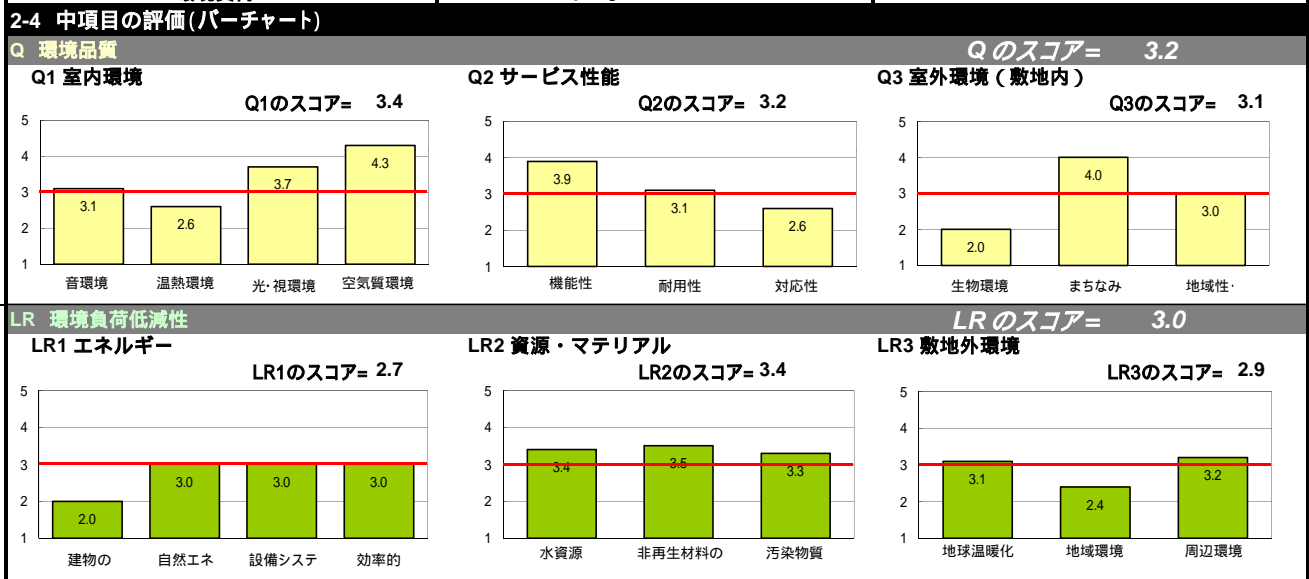
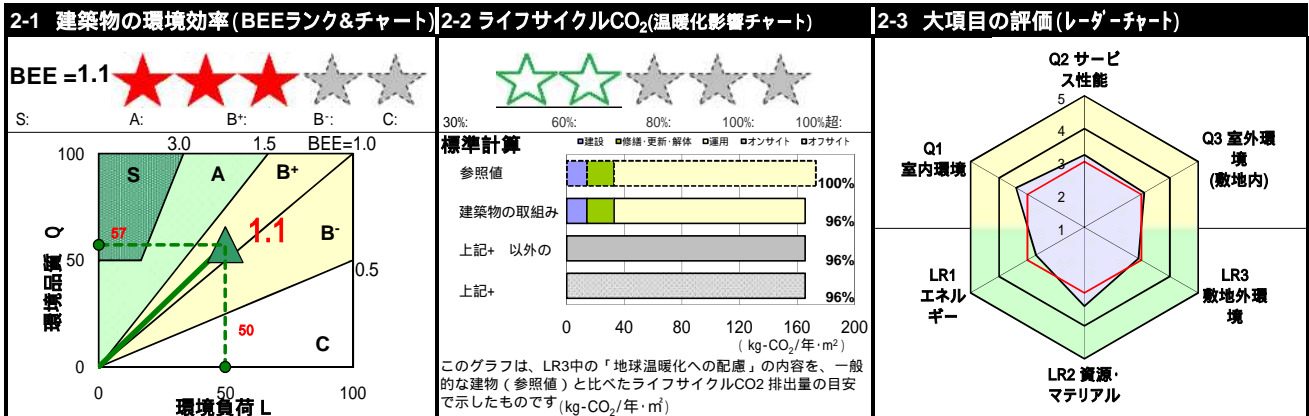


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	箱根湯本温泉 月の宿 紗ら	階数	地上6F
建設地	足柄下郡箱根町湯本字上町588番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	160 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2015年10月 予定	評価の実施日	2015年10月23日
敷地面積	1,000 m ²	作成者	東急建設株式会社
建築面積	827 m ²	確認日	2015年10月23日
延床面積	4,418 m ²	確認者	東急建設株式会社



3 設計上の配慮事項		
総合 計画上、敷地一杯の建物配置となる。圧迫感、威圧感への配慮として、自然公園法による絶対高さ20m以下に適合させ、屋根部分を勾配屋根とすることで道路隣地側への圧迫感、威圧感を軽減できるように配慮した。周辺の景観に調和し、設計コンセプトを明確化した外観、内観計画とした。		その他 特になし
Q1 室内環境 客室の遮音環境に配慮して、遮音等級 T 2 サッシュ、界壁に遮音壁を用いた。照明制御も、機能性に配慮して点滅を細かく分けて計画した。	Q2 サービス性能 快適性を追求し、天井高さを十分に取り、内装コンセプトも明確化した。設備に関しては、機能性を高め100Mbitクラスのブロードバンド対応や省エネルギーに配慮し節水便器の採用や信頼性を高めるため受水槽を2槽とした。	Q3 室外環境(敷地内) 自然公園法に準拠した計画とした。また、温熱環境と快適さを向上させるため、屋上庭園を計画した。
LR1 エネルギー エネルギーの使用の合理化に関する法律に準拠したエネルギー計画とした。	LR2 資源・マテリアル リサイクル材は施工段階においても積極的に採用する。O Aフロア等、再利用可能なユニット材を採用した。	LR3 敷地外環境 敷地面積の10%以上に緑化を行った。屋内、屋外照明についても周辺との調和を図る計画とした。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

'ライフサイクルCO₂'とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される